

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達さぼーとセンターるぼろ（ 児童発達支援センター ）		
○保護者評価実施期間	令和6年 7月 22日		～ 令和6年 8月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 5日		～ 令和6年 11月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>※当事業所は、認定こども園に併設し、併設こども園あるいは他園と事業所の並行通園している児童が在籍している。</p> <p>一日の療育を通し、園の流れや生活場面を想定しながら、様々な場面で支援に繋がる療育を行っている。一日の療育を行うことで園と共有し連携し支援を行うことを目的としている。一日療育を活かし、1対1での場面に合った支援や個別活動も取り入れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園と同じ時間帯・流れを意識し、生活場面での困り感を把握して大きな集団への支援に繋がれるようにしている。 ・園の遊びや活動に入りやすいように様々な体験や感覚統合を意識している。 ・保護者のレスパイト。 ・人数が多いグループの日は仕切り壁を取り、部屋を広げて活動している。 ・給食を含め療育時間が長い為、アレルギー対応やてんかん発作等の対応などを一覧にし全職員が確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はインフォーマルなものが中心だが、フォーマルなアセスメントをする機会を設けられるよう準備している（N-Cプログラム等） ・専門職の評価が必要な児については療育の中で確認する機会を設けることも検討する。
2	<p>多職種連携により、保護者のニーズや利用者の評価を専門的視点から分析し、療育に繋げることが出来る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の悩みの内容により、専門的視点からのアドバイスの提供。 ・言語面や作業面を意識し、療法士と連携した上で療育の提供を行う。 ・必要な視覚支援を提供できるよう努力している。 ・部外講師による療育（音楽療法） ・医師による巡回 	<p>今後も保護者のニーズや必要性に応じた職種連携を行っている。</p>
3	<p>就学に繋がる支援として小集団療育から保育所等訪問支援や町による個別療育への療育の流れを提供している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、園、相談事業所、保育所等訪問支援員との連携、一人ひとりに対する就学を見越した療育を話し合っている。 	<p>今後も一人ひとりに合わせた必要な支援を提供していく。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>療育終了後のフォロー体制が整っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後の相談を受けるための人員不足。 	<p>町、センターの役割を双方共有し進めていく必要がある。</p>
2	<p>地域からの委託や連携のため年間を通して職員の派遣が多い。そのため、会議や職員研修等の時間が取れない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置基準は満たしているが本業務以外にセンターとしての役割も大切だと考えており、充実させていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した療育、センターとしての役割を両立させるため職員増員の検討。 ・研修年間計画を作る。 ・書面での周知、伝言版の利用などを使って職員の情報共有や提案を行う。
3	<p>週2～3日利用希望もいるが、受け入れられていない。</p>	<p>利用希望者に対して平等性を考え、週一利用としているが、二ードに応じられていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援、個別療育を含め、個々に今必要な療育を検討していく。 ・今行っている就学まで、就学後の支援の流れを大事にしながらか療育の必要な児が必要な時に療育を行うことが出来るよう、当事業者だけではなく、他事業者との連携も必要。

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 7年 1月 23日

回答数：

31件

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用希望者が多く、丁寧な関わりを心がけていくため、2部屋を利用し同時並行でグループを行っています。グループの特性や活動に応じて部屋の広さや環境を調整しています。	はい 31 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	・活動しやすい十分なスペースがあります。 ・確保されている。	引き続き活動や様子によってスペースの確保ができるようにしていきます。
	2 職員の適切な配置	基準は満たしています。各グループにおいては、2～3名の職員で対応し、必要に応じて専門職員も日中活動に参加し子どもに関わるようにしています。	はい 27 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 4	・クラスで先生方が何人居てるのか分からない。	引き続き職員を適切に配置できるようにします。その日グループに入っている先生の写真を部屋の前に掲示しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、活動の手順を写真で提示したりしています。同時並行グループの時には自分の部屋がわかるようにドアにグループのイラストを貼っています。欲しい玩具を写真で選んで要求できるように写真を提示しているグループもあります	はい 28 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 3	・自分で出来ることが増えているのでわかりやすいのだと感じています。 ・絵カードがたくさん貼られています。 ・空間や掲示等で分かりやすい環境作りをしていると思います。 ・本人が分かりやすいように棚には絵のタグが付いており、物の配置などが配慮されていて良いことだと思った。	引き続き、スケジュールや活動を写真やイラストで提示していきます。また児童の特性により集中しやすい環境や移動しやすく危険のない環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	療育終了後に清掃をしています。使った遊具や室内は終了次第、除菌ふき取りをするなど環境を整えています。	はい 31 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	・いつも整っていると感じます。 ・清潔で気持ち良く過ごせる空間で安心しています。 ・子ども達が過ごしやすいように一つ一つ	引き続き、消毒などを行いながら清潔で心地よく過ごせる空間を確保していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回の職員会議を実施しています。必要に応じて時間を作り会議の場を設けています。	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加し報告書と共に資料を回覧しています。職員同士で研修報告を行い情報共有をしています。	/		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員全員で会議を持ち目標や支援方法などを検討した上で、児童発達管理責任者が支援計画の作成を行っています。	はい 30 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	・こども園で困っている事の理解からそれに伴った計画を立ててくれています。 ・気になっていることに対応してくださっています。 ・十分な面談時間を設けてくれるので、こちらのニーズに対してもきちんと計画を作成してくれます。 ・作成されている。	引き続き、子ども達の発達に応じた支援計画を作成していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 29 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1	・スタッフ間で支援計画の共有をして頂いていると感じています。 ・設定されている。	支援内容に関して抽象的な内容ではなく、具体的に実施できる内容を記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議や療育中・療育後に支援方法を検討し、適宜支援方法を変更していけるようにしている。	はい 28 どちらでもない1 いいえ 0 わからない 2	・母子分離になったので分らない。 ・行われている。	引き続き会議や療育後等適宜振り返りを行いながら支援計画に沿った適切な支援を行っていただけるようにします。また、支援計画にそった様子を連絡帳でお伝えできるようにします。
	4	チーム全体での活動プログラムの立案	月に1回の職員会議で月間活動予定を立てている。活動の詳細な内容ははるぼる便りの内容を軸にそれぞれのグループ担当で決めている。	/		
	5	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休みによる時間の変更は行っていません。今年度より5週目も療育を実施しています。	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて身支度活動やお集まり等はある程度固定化して定着を図っています。また、季節に応じた遊びや活動を取り入れることで基本的な成長、発達の支援をしています。	はい 31 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	・こども園では体験できないようなことを工夫していただいて経験の積み重ねが出来ます。 ・いつも色々な活動を考えて下さっています。 ・毎回様々なプログラムをしてくださいます。 ・園便りやアプリで詳しく教えて頂いているので毎回楽しそうです！ ・毎週異なる活動プログラムを組んで下さり、毎週楽しみにしています。 ・毎月の色々なプログラム本人も楽しみにしています。 ・工夫されている。	引き続き、必要に応じて定着を図りたい活動は固定化していきます。併せて、子どもの発達に応じた活動を考えていきます。
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者同士で活動内容や役割を相談してから活動を行っています。	/		
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	担当者間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、支援の仕方や子どもの気になった部分を次回どうするか等の話をして情報を共有しています。	/		
	9	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。それを基に支援の改善を考えています。	/		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回子どもの様子を共有しています。		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	子どもに応じて児童発達管理責任者と小集団の担当者が担当者会議に参加しています。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	相談支援事業所、児童発達支援事業所、保育園・こども園、聴覚支援学校等の関係機関に見学に行かせて頂いたり、必要に応じて当事業所での様子を見に来て頂いています。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療機関との連携はまだ実施していませんが、必要に応じてご相談させていただきたいと考えています。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通じて、または保護者の了解を得たうえで、園、所との連携を行っています。園、所の担任の先生が見学にこられることもあり、子どもの状態や情報を共有しています。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度は専門機関との連携を実施出来ていません。		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設しているこども園の児童と園庭で遊んだり、テラスで遊ぶ機会を作り、自然と関われるような環境で活動を実施しています。	はい 13 どちらでもない 1 いいえ 2 わからない 15	<ul style="list-style-type: none"> ・隔離された(療育単独)空間ではなくこども園の子どもとも挨拶をしたり遊んでいる様子が見れる環境が良い。 ・私が知らないだけだと思います。 ・施設はこども園の中にあるけれども、合同で(園の子ども達と)行事が行われていることがないと思うので触れ合う機会があるのかよく分からない。 ・こども園併設の為、自然に触れ合う機会があります。良い刺激にもなっていると思います。 ・まだ通って間もないのでその辺のことは分からない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	太子福祉フェスティバルに参加し、地域の方や子どもたちとの交流を図る予定です。	/		
保護者への説明責・連	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。療育終了後には、連絡帳やメールで活動内容や支援内容をお伝えしています。	はい 31 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	<ul style="list-style-type: none"> ・説明に関してはどの項目もとても丁寧に 行っていると感じます。 ・丁寧に説明してくださいました。 ・十分な時間を作ってくれて丁寧な説明 があり分かりやすいものでした。 ・とても丁寧な説明で分かりやすかった 	引き続き、活動や支援内容を丁寧に伝えていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画は面談時間を設定し、読み合わせながら内容の確認を行っています。了解を頂き捺印を して頂いています。	はい 31 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を見ながらの説明丁寧で 分かりやすいものでした。 ・用紙を見ながらの説明で分かりにくい 部分も一つ一つ丁寧な感じで話して くれたので良かったです。 	支援計画を説明する時には子どものプ ラスの力に視点を置き、分かりやすい説 明を心がけていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今年度、現段階で親講座は実施出来ていませ ん。今年度、親講座についてのアンケートを行 い、よりよい講座内容ができるように検討して います。	はい 29 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 2	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援等必要な情報を教えてもらってとても 役立っています。 ・親子療育で私自身子どもに対する接し方を 学ばせてもらっています。また、出来ることが増えて いく子どもの様子を一緒に見ることが出来ることを 嬉しく思います。 ・講座の紹介、きちんとしてくれます。親子療育は 良い時間を過ごせました。 ・面談は何度かあった。 	保護者のニーズに合わせた講座を開催して いけるように日程を調整していきます。より 分かりやすい親講座のご案内方法を検討し ていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	小集団療育後のメールや連絡帳のやり取りやを 通して子どもの様子を共有していけるようにして います。必要に応じて面談の時間を設けていま す。	はい 29 どちらでもない1 いいえ 0 わからない 1	<ul style="list-style-type: none"> ・今こども園で困っていること、先生の気になる点も その場で相談してもらっている。 ・細かく話してくださいます。 ・送り迎えや面談、連絡帳等でやりとりできるので 心強いです。 ・お迎えの時に、その日の出来事等をお話があ りとても分かりやすかった。 	引き続き児童について保護者と共通理 解を深めていけるよう努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時 間を設定し、個別でお話をさせていただいていま す。	はい 29 どちらでもない1 いいえ 0 わからない 1	<ul style="list-style-type: none"> ・特性について分からないことは専門の先生が説明 や助言をして下さりとてもありがたいです。 親も分からないままではなく理解する場を提供して もらえています。 ・助言してくださっています。 ・4月から方針が変わり、ゆっくり話せる機会が少な くなったように感じる。月に1回程度面談等で子ども の様子についてゆっくり話せる機会がほしい。 ・子どもの様子を相談させて頂き、アドバイスを いただけること、一緒に考えてくださっていること に感謝しています。 ・話しやすい雰囲気や聞くとすぐに助言してくれます。 ・助言や親の意見を聞いた上で支援が 行われている。 	引き続き、相談しやすい関係を築き、安心し て子育てしていけるよう丁寧に対応してい きます。お子さんの様子の変化があった時 や、保護者の方の不安がある時には必要に 応じて面談の時間を設けていけるようにしま す。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていませんが、保護者支援も大きな目標の一つです。就学前の親講座では卒園児の保護者を招いて就学前の座談会や親講座を通して保護者が話しやすい環境を作っています。	はい 20 どちらでもない5 いいえ 1 わからない 5	・特に他の保護者の方と関わる機会はないのですが、困ってはいないです。 ・母子通園の時のお友達のママと連絡先を交換できました。連絡先を教えても良いかちゃんと確認して下さった上で交換できたので嬉しかったです！ ・まだ分からない	保護者同士の交流会の希望がでていまずので機会を見て交流できる機会を持てるようにします。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 22 どちらでもない いいえ 1 わからない 9	・苦情はありませんが、苦情対応の説明は丁寧にいただいています。 ・苦情があるのかわからない。 ・苦情がなさそうなので… ・苦情ではないがトラブルが起きた時にすみやかに対応している。	必要な内容については、情報共有の観点から情報の開示を検討します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後にメールで活動内容を配信したり、連絡帳で様子をお伝えしています。月に1回活動の様子を写真も配信しています。またお知らせ等はメール配信とお便りの配布を行い、情報を伝達しています。	はい 29 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 2	・毎回丁寧な活動報告や気になる点や取り組みを教えてもらっています。 ・面談、メール、連絡帳等色々な手段でして頂きよく分かります。 ・されている。	引き続きわかりやすい情報伝達や意志の疎通を心掛けていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のるぼろ便りをメールと紙面で配信し、活動内容や連絡事項を掲載しています。活動の様子は毎月写真で様子を配信しています。	はい 31 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	・いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。活動の様子がとても分かりやすく楽しみに読んでいます。 ・とても丁寧で分かりやすいです。家でお話するときに内容が分かって助かります。 ・詳しい活動報告がメールで届きます。 ・とても丁寧にいつもありがとうございます！ ・活動終了後に毎回メールでお知らせしてくれるので助かっていますし、安心していきます。 ・メールでの配信や活動内容が詳しく記載されており分かりやすい。	引き続きわかりやすい情報伝達を心掛けていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 31 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	・している	引き続き個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	はおとの森こども園と一緒に感染症対策委員会を立ちあげて、随時研修を行っています。また、流行時期に合わせて情報発信をしています。緊急時対応マニュアルも作成しています。緊急時には速やかに対応することができるよう外出企画書を作成し職員間で周知しています。	はい 30 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 1	・している	必要に応じて保護者の方へも周知していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。	はい 26 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 4	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練して下さっています。 ・一緒に参加する機会があり大切なことだと再認識しました。 ・わからない 	引き続き避難訓練を実施していきます。避難訓練の予定をるぽろ便りでお知らせしていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項説明にも記載し説明をしています。必要がある場合は個別に保護者との懇談を重ね双方承知、合意のもと行うこととします。	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者に確認、チェック表の記入をして頂き必要であれば調理師との懇談をして頂きます。クッキング等で食材を扱う時には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないか確認をしています。	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、状況を周知できるように報告しています。ヒヤリに気づけるように職員間で声を掛け合っています。また、施設内で月に1回会議をして全体で事例の共有・検討をしている。	/		
	満足	1 子どもは通所を楽しみにしているか	楽しんで通所できるよう各グループで療育内容を検討し支援者も楽しんで活動を行っています。	はい 31 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日「今日行けるのか？」と聞いてくる程とても楽しみにしています。大変満足です。 ・一度も嫌がったことがないです！ ・毎回楽しみにしています。親・子どもに支援してもらい有難い。小さなことでも褒めて下さるのが嬉しい。 ・しゃべらないですが、帰ってきてすぐに寝るのでたくさん遊びながら学んでいるんだと感じています。 ・作業療法を受けられるよう工夫して頂きたい(たつの市在住) ・最近は泣くことも減り、何をするのか見通しが

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
年度	2 事業所の支援に満足しているか		<p>はい 29 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0</p> <p>付いてきている部分もあると思いますが、笑顔が見れ、活動に参加出来ていること、大変嬉しく思います。 ・毎回楽しみに通所しています。活動表もよく見えています。とても満足しています。 ・毎週水曜日になると「るぼろ行くの？」とたずねてくる様子が見られ親としても安心です。とても満足している。</p>	<p>今後も児童や保護者のニーズに沿った支援が出来るよう多職種で連携を取りながら支援の向上に努めます。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達さばーとセンターるぼろ (児童発達支援)				公表日	令和7年 1月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	人数に応じて、間取りや広さを変えている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	必要な視覚支援を提供できるよう努めている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日掃除を行い環境の清潔保持に努めている。	おもちゃなど用品については消毒頻度を上げられるよう役割分担を検討する必要がある。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別に話を伝えたいときや個別に課題に取り組む際には個室を使用している。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	4		勤務時間内で計画的に実施できるように時間の調整を行う。		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0				
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1				
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		専門職の確認が必要な児童については、その機会を設けることも考えていく。		
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0				

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	限られた時間の中で、その場その場で気づいた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	市町村が主催する連携会議に出席し、支援体制の共有を行っている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	送り迎えの際に、可能な限り共通理解を持っている。必要に応じて面談している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	交流会を実施したり、ペアレント・トレーニングを行った。	家族参加の研修は今後検討したい。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	特別支援学校と連携を行っている。訪問が困難な場合は、書面にて情報提供している。	
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1		
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	4		外部研修に参加する機会を保障していく。
36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1			
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。					

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者交流会を実施している。	きょうだい児への支援は未だ機会がない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		併設こども園が実施する行事と連携を図る。
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		同じ日に訓練実施しているため、曜日変更の必要がある。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者へ確認したうえで、リスト作成し視覚化を行っている。	予防接種の有無は確認できていない。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	対象児童はリスト化し対応を図っている。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		